

## 明るい暮らしと住まい作りの 良きパートナー

三宅産業株式会社 社長 三宅 慎二



歴史は、エネルギーの歴史と共にあります。

昭和三〇年代、黒いダイヤと言われた石炭が石油の出  
現でその価値を失いかけた頃から、家業の雲行きが怪し  
くなり始めました。昭和三十一年、三宅石炭店が商号を  
三宅石炭株式会社と改め、法人化した矢先のことでした。  
時代は既に石炭から石油へと移っていましたが、その  
変化の波をまともに被る形で、会社の売上は急落しまし

た。

昭和三十三年、これからは石油産業の時代だと意を決  
した先代社長は、石油製品販売許可を受け、販売を開始  
しました。燃料革命という、嵐の中で、LPガス事業の  
導入に踏み切ったのは昭和三十四年のことでした。この  
決断が功を奏し、LPガス事業はその後、会社の屋台骨  
となり、今も収益のベースとして会社を支えています。

ただ、当時のLPガスは重量売りが主流で、ガス切れの  
呼び出しがいつあるか分かりませんでした。特に冬の季  
節は早朝から深夜まで一日中呼び出しコールが鳴り響き、  
社員総出で配達に駆けずりまわったものでした。

やがて、LPガスの供給と同時にガス器具販売、そし  
て配管工事へと事業は多角化し、売上は右肩上がりに伸  
びてゆきました。昭和三十七年頃のことでした。

その後、ガスの配管工事と共に観音寺市水道工事指定  
店となりましたが、これには老舗業者から根強い反発が  
あり、水道工事業の定着には随分苦労が続きました。



太陽光発電

昭和四十五年、電気工事知事登録をしましたが、これはガス、水道に加えて電気の仕事ができればとても便利ではないかという発想でした。こうして一軒の住宅に必要な設備工事を全て当社で取り扱うことができるようになり、多能者を養成していきましたが、本当の意味でこれが現在の会社の基盤創りに大いに貢献しているといえます。

そして次にはガソリンスタンド経営に乗り出す時がきました。昭和四十八年、新子会社三宅石油が設立され、夢のガソリンスタンドがオープンしました。記念すべき三宅グル

ープの誕生でした。その翌年、香川日立家電と提携して、家電機器の販売を手掛けるようになりました。

ガス製品をはじめ、家電製品、機械・電気設備工事、そして今は住宅の増改築から病院・老人ホーム・ホテル・学校などいわゆる箱物の設備工事から、太陽光発電システムやフロン破壊プラントに至るまで、住まいと暮らしに関する地元オンリーワンの店として、創業時同様、地域にとつてなくてはならぬ存在になろうとしています。

わが社の特徴的な事柄を挙げて見ますと、二十四時間三六五日サービス体制の確立をされており、いざと言う時にはお困りのお客様の下に駆けつけます。後、毎年文化の日辺りに、三日間、秋の総合展示会を開催しています。地元の皆様方も大変楽しみにして頂いており、ここ近年は、毎年来場者数が増加して、五千人近くの方がご来場してくれています。三豊の秋の風物詩とも言われ親しまれています。

堅実に、そして着実に、わが社はひとときも歩みを止

めることなく進んできました。先代社長から引き継いだ  
“ 地域の人たちの暮らしを便利に快適に ” そんな強い  
想いで作られた「美しい生活の創造」という経営理念を  
真中に、来るべき六〇周年・一〇〇周年を力強く生き抜  
いていこうと考えておりますので、これからもご指導、  
ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

観一・33回（昭和57年卒）



展示会の似顔絵コーナーの優秀者



秋の総合展示会のグルメコーナーの光景